

サイエンスカフェ の概要について (事後報告)

1. 開催日時：令和6年1月23日(火) 14時～16時(対面開催)
2. 開催場所：岩手大学農学部生命系スペース(岩手県盛岡市上田3丁目18-8)
3. 関係団体等：公益社団法人日本農芸化学会、日本農芸化学会東北支部主催、日本学術会議食料科学委員会・農学委員会合同農芸化学分科会共催、岩手大学次世代アグリイノベーション研究センター共催

4. 役割

企画、講師：山田 美和(岩手大学農学部教授/岩手大学次世代アグリイノベーション研究センター生物生産部門)

日本学術会議食料科学委員会・農学委員会合同農芸化学分科会の紹介：山下 まり(東北大学大学院農学研究科教授/日本学術会議連携会員、Web参加)

5. 概要：

「岩手の微生物が世界を救う？自然に還るバイオプラスチックのおはなし」

山田教授から開会の挨拶、趣旨の説明があった。次に山下教授より、Webにて日本学術会議食料科学委員会・農学委員会合同農芸化学分科会の紹介を行った。続いて、山田教授より公益社団法人日本農芸化学会の概要を説明後、プラスチックを取り巻く環境問題とその解決法のひとつとして微生物が合成する生分解性プラスチックについての紹介があった。講演中には、従来の化学合成プラスチック(難生分解性のプラスチック)合成実験のデモンストレーションも行われ、参加者と講師と一緒に、化学合成と生物合成法についてのメリット・デメリットについて議論した。参加者は、講演中に合成したプラスチックと生分解性プラスチックを持ち帰ることができた。参加者は熱心に聴講し、講演中や講演後に質問もあり、活気のある企画であった。

6. 参加人数：12名

講演者等：4名

7. 特記事項：なし

写真添付：

